

自学力の育成

高知県越知町立越知中学校区の 取組に学ぶ

平成27年12月11日（金）町内各小学校，中学校から8名の職員で高知県高岡郡越知町立越知小学校・越知中学校へ視察に行きました。越知町も，全国的に言われている少子高齢化の状況にあり小学校全児童207名，中学校122名と吉舎町とよく似た学校規模です。町の発展は「人づくり」からということで，教育目標「自ら学び，心豊かでたくましく世界に羽ばたく子供の育成～人間力を育てる～」を掲げ保幼小中連携教育に取り組まれています。

越知小学校の取組

- ①児童が中心になって進める授業
 - ☆学習過程スタンダードとして
「問題提示⇒自力解決⇒集団解決⇒まとめ⇒振り返り」の徹底
 - ☆学習リーダー（進行係）の育成
全児童・順番制
 - ☆発言リレー
児童の言葉でまとめていく
- ②ドリルタイムを実施
- ③ノートコンテスト
ノートの取り方，学び方
- ④県外交流の実施
北海道の小学校との交流
＜越知中学校＞



＜発言リレー＞



＜グループ話し合い＞



越知中学校の取組

- ①学級づくり，宿題・小テスト，授業改善の取組を徹底する。
- ②教職員の意識・行動を変えていく
- ③生徒の学力向上における成果をだすシステムを確立する。
- ④生徒間の話し合い活動を充実させ，自分の考えをノートに書かせることを徹底させる。

＜話し合い活動＞



＜授業改善～流れを提示＞



＜考える視点を揭示＞



越知町



これまでの授業展開方法や学校・学級運営の在り方を大胆に見直し，実践することで学力や体力は劇的に向上したといわれます。吉舎中校区における取組もこれまでどおりに終わらず変えるべきところをどんどん変えていきたいと思ひます。

学校・家庭・地域が一体となって吉舎の子供たちの育成を図りたいと思ひます。
(視察者一同)